

第3回目の福岡での合同曲の練習には110名のOBが参加

100周年記念フェスティバル合同曲「月光とピエロ」の8月練習が8月4日（日）15時より福岡市早良区西新の西南コミュニティーセンターホール（大学東キャンパス）で行われました。この日の福岡は35℃を超える暑さ、地下鉄の西新駅から会場まで歩くだけで汗をかいてしまう中、九州・山口から110名のOBと現役のグリーンメンが練習に参加しました。

フェスティバルフィナーレの「いざ起ていくさ人よ」「学院校歌」の練習が15時過ぎより内海敬三氏（54期）の指揮で行われ、その後小久保先生による「月光とピエロ」の練習でした。

当日は70期代、90期・00期代が午前中に、60期以前が合同練習後に年代別練習。13時から15時がシャントゥール定期演奏会の「富士山」の練習。一番多く練習に参加された方は8時間を超える練習になりました。また、13時からの「富士山」の練習、15時からの合同曲の練習はそれぞれ休憩なしでみっちり2時間の練習。練習に参加された皆さん、お疲れさまでした。

これまで福岡での合同練習に参加された方は全部で140名。東京、大阪、復活後のOB、現役のグリーンメンを加えると100周年記念フェスティバルは200名を超える参加者になりそうです。

なお、7月末での参加申し込み（払込票による入金）は100名少々。参加申し込みの締め切りは8月（今月）20日です。期日までの申し込みを宜しくお願いいたします。フェスティバル終了後に行われる100周年記念祝賀会の参加申し込みも8月20日が締め切りです。こちらもよろしくお願いいたします。

払込票は6月の総会案内に同封しておりましたが、お手元に届いていない方はメールにてOB会事務局（seinan_glee@yahoo.co.jp）までご連絡ください。

今後の練習は日程だけですが以下のようになっています。

8月31日	14時から	東京地区小久保先生練習
9月1日	15時から	80期代福岡練習
9月15日	10時から	70期代福岡練習
9月15日	15時から	小久保先生「月光とピエロ」福岡練習
9月15日	17時から	60期以前福岡練習
9月15日	18時から	90期・00期代福岡練習
9月21日	11時から	記念式典
9月21日	13時から	年代別練習&合同曲練習

※詳細は別掲の今後の練習予定をご覧ください。

以下は 15 時以降の合同曲の練習風景です。



まずは内海敬三氏（54期）によるフィナーレの「いざ起ていくさ人よ」「学院校歌」の練習。
現在では日本の合唱の世界で広く歌われている「いざ起ていくさ人よ」。この曲の訳詩は西南グリーOBで西南学院の英語教師でもあった藤井泰一郎氏。詳細はホームページに掲載している「西南学院グリークラブと『いざ起て戦人よ』」をご覧ください。

【小久保先生の「月光とピエロ」の練習が始まりました】



【今回の練習には90期、00期代の若手（と言っても40歳代、50歳代ですが）が多く参加！】



【テナー側からとベース側から】



【100名を超える参加者で会場はかなり埋まっています】

